

## 事業概要

### 「人事プロフェッショナル」のスキル標準の策定及びそれらの育成プログラムの開発/実証/効果/測定

事業に貢献できる人事部門を担う人材として必要不可欠な「人事プロフェッショナル」(将来のCHRO/Chief Human Resource Officer)に必要なスキル標準を再定義し、その育成プログラムを開発します。

#### <背景>

企業の競争力を人材や組織の面から支える人事部門には、これまで以上に、経営戦略の実行を担い、事業に貢献する役割が求められており、オペレーショナルな人事部門から、戦略実行の一翼を担う「ビジネスパートナー」としての人事部門へと進化していくことが必要。

## 進捗状況と今後の展望

国内外のCHROのインタビューを通じて、人事リーダーに必要なパーソナリティ、コンピテンシー、スキルを明らかにしてきました。その結果を経営行動科学学会と日本を代表する企業10社の人事責任者で構成される産学連携コンソーシアムに持ち込み、コンソーシアムメンバーの経験値とも照らし合わせながら、スキル標準の定義を固めています。

今後は、各人事プロフェッショナルのパーソナリティ、コンピテンシー、スキルの現状確認し、育成課題を特定し、個別のレコメンデーションを提示できるアセスメントの仕組みを確立していきます。加えて、育成するための教育プログラム体系を策定し、今年度実証するプログラムについてはプログラムコンテンツを具体化していきます。

コンソーシアムでの議論を経て、本プロジェクトが研修の域に留まらず、各人事プロフェッショナルの状況に応じて、自己認識+研修（知識インプットとケースによる応用）+職場経験を組み合わせた包括的なアプローチへと、より実践的な提案へと進化しています。

引き続き、産業界と学術界の経験と知恵を結集して、事業に貢献する人事プロフェッショナルの育成に取り組んで参ります。